



2025年2月13日

各位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名:代表取締役社長兼CFO 大畑 恭宏
(コード番号:6090 東証グロース)
問合せ先:代表取締役社長兼CFO 大畑 恭宏
(TEL:03-3551-2180)

東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更申請に向けた準備に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、東京証券取引所（以下「東証」といいます）スタンダード市場への上場市場区分変更申請に向けた準備を開始する旨の決議をいたしましたので、下記の通りお知らせいたします。2025年3月中の申請を予定しております。

記

[東証グロース市場における上場維持基準の適合状況]

2024年9月30日に開示いたしました通り、当社の2024年6月期の基準日時点における東証グロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおり株主数、流通株式数、流通株式時価総額、流通株式比率については適合しておりますが、時価総額については基準に適合しておりませんでした。当社は、下表のとおり、不適合となった時価総額基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組を進めております。

| | 株主数 (人) | 流通株式数 (単位) | 流通株式時価総額 (億円) | 流通株式比率 (%) | 時価総額 (億円) |
|--------------------|------------|---------------|------------------|---------------|--------------|
| 当社の適合状況 (基準日時点) | 4,572人 | 48,468 | 31.7億円 | 81.93% | 38.7億円 |
| 上場維持基準 | 150人以上 | 1,000単位以上 | 5億円以上 | 25%以上 | 40億円以上 |
| 計画書に記載の事項 | | | | | ○ |
| 計画期間 | - | - | - | - | 2026年6月 |

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が当社の基準日（2024年6月30日）時点で把握している当社の株券等の分布状況に基づいて算出を行ったものです。

上場維持基準適合に向けた取組の基本方針

当社は、東証グロース市場における上場維持基準の適合に向け、業績向上による「時価総額の向上」を基本方針とし、「株価の向上」を目指してまいります。

なお経過措置については2025年3月1日以降に到来する上場維持基準の判定に関する基準日から本来の上場維持基準を適用する旨、株式会社東京証券取引所より示されたことを踏まえ、当該基準日までに上場維持基準に適合するために、計画期間を2026年6月末としております。

上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取組内容

(1) 課題

2023年8月に開示した中期経営計画において、2024年6月期は初年度であり、対前年比+23%増の営業利益計画でしたが、対前年比4.4%増という結果になりました。当連結会計年度第1四半期以降の第3四半期まで対前年比較において十分な営業利益増とならなかったことが、業績向上に対する株主・投資家の懸念となり、株価が低迷した要因と考えています。また当社の事業内容が専門的であるために、一般の個人投資家にとって理解

が難しく、当社グループの認知度が低いことも要因の一つと考えます。

当社グループの中期経営計画で目標としている中長期的な成長のための研究開発によるイノベーション創出を加速しつつ、短期的には営業利益などの利益目標の確実な達成を図ること、当社グループへの認知度を高めるIR活動などを強化していくことに取り組んでおります。

(2) 取組内容

①業績向上（イノベーション創出と短期的な利益目標の達成）

2024年9月30日に開示いたしました「事業計画及び成長の可能性に関する事項」（P25～37）に記載いたしましたように、中期経営計画の2年目の目標軌道に戻すべく、主に4つの施策を展開しております。

- 1) 機能性素材開発包括支援サービスの拡販継続（P34-36）
- 2) 革新的な新サービス提供（P27, P30-31）
- 3) 海外事業強化（P27, P29）
- 4) 新規事業創造（P28, P33）

②IR活動及びPR活動の推進、強化及び投資家向け情報発信の充実

当社グループでは、適時開示以外にもプレスリリース等における任意的な企業情報の開示を行うことで、IR活動及びPR活動の推進を行っております。今後も今まで以上にIR活動及びPR活動を推進し、当社グループの事業内容、強みを含めた成長性、将来性の理解を深めるための積極的な情報発信に取り組んでおります。

[市場区分変更申請の準備を決議した理由]

上記の取組を推進した結果、中間決算では対前年同期と比較して大幅な営業増益となり、当連結会計年度において中期経営計画の軌道に戻ることができると判断しております。また当社は創業から20年以上が経過し、その事業内容、優良な顧客や事業パートナー、長期の株主の方々等、成熟したステークホルダーを有しており、次の成長段階に入っていると考えております。

こうした認識から現在の成長ステージに適した環境である東証スタンダード市場への移行に向けた準備を開始する旨の決議をいたしました。2025年3月中の申請を予定しています。

これにより、メタボローム解析のプラットフォーム企業として、研究開発による革新的な新事業・新サービスの創出を通じて中長期的な持続的な成長を図り、さらなる社会的信用や知名度の向上につなげ、優秀な人材を確保し、株主様をはじめとして、顧客企業や取引先、従業員、地域社会などの皆さまに対する社会的な責任を果たすことを念頭に、より高いガバナンス水準を備えた東証スタンダード市場上場によるステージアップを目指してまいります。

なお当社は下記のように東証スタンダード市場上場の形式基準は全て充足しております。

| スタンダード市場上場基準 | 株主数 (人) | 流通株式数 (単位) | 流通株式時価 総額(億円) | 流通株式比 率(%) | 純資産の 額(億円) | 利益の額 (億円) |
|--------------------|------------|---------------|------------------|---------------|---------------|--------------|
| 当社の適合状況 (基準日時点) | 4,572人 | 48,468 | 31.7億円 | 81.93% | 19.2億円 | 2.3億円 |
| 上場基準 | 400人以上 | 2,000単位 以上 | 10億円以上 | 25%以上 | 正である こと | 1億円以上 |
| 達成状況 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が当社の基準日（2024年6月30日）時点で把握している当社の株券等の分布状況及び2024年6月度決算数値に基づいて算出を行ったものです。

以上